

3 省線式卓上形ナースコールシステムVH-160A

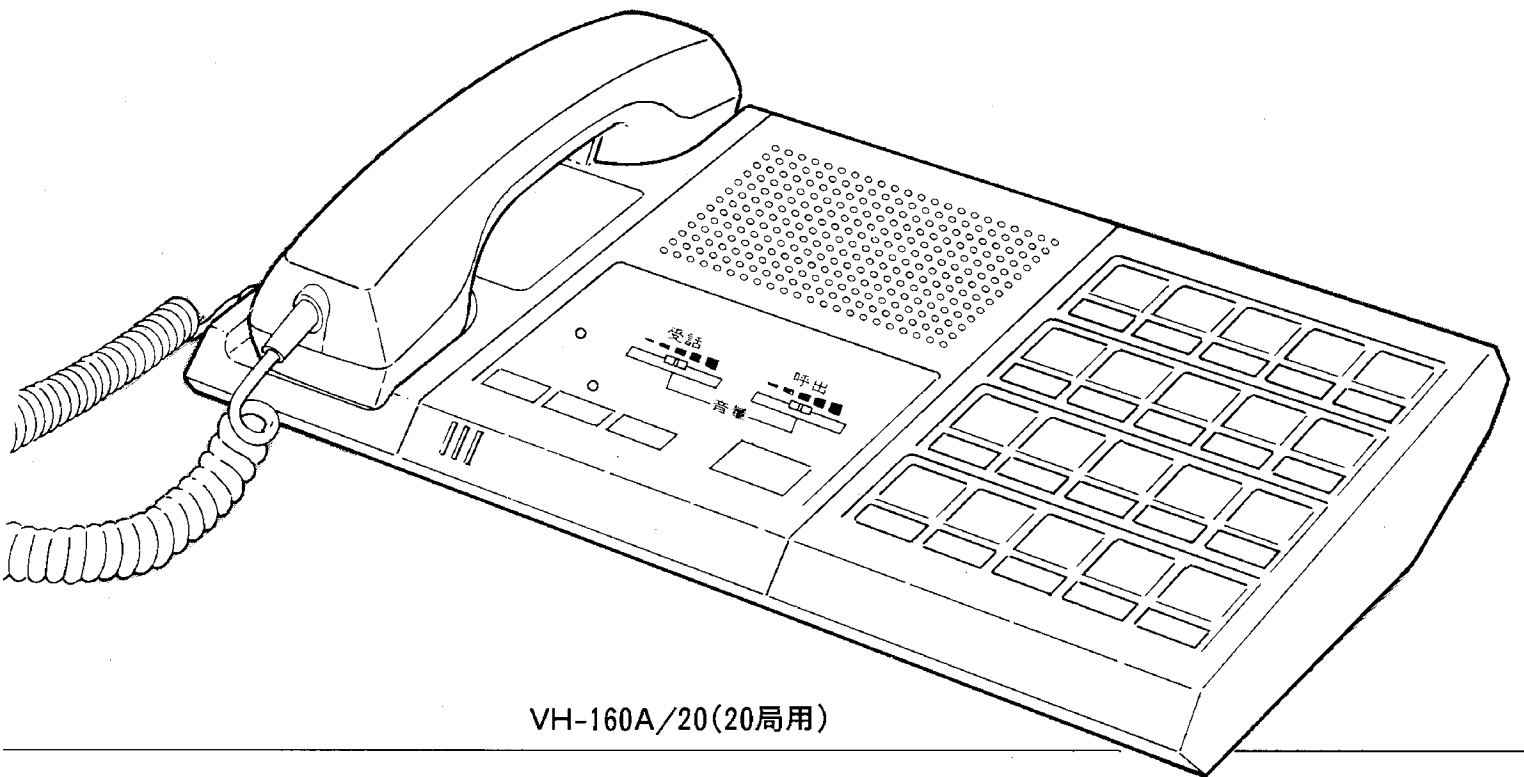
VH-160A /20、40、60、80、100、120

取 扱 説 明 書

National

省線式卓上形ナースコールシステム

品番 **VH-160A/40, 60, 80, 100, 120**
(40局用) (60局用) (80局用) (100局用) (120局用)



VH-160A/20(20局用)

取扱説明書

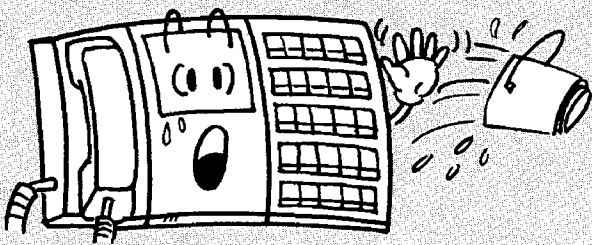
保証書別添

- ご使用前に、取扱説明書・保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。
- 保証書は「販売店・購入日」などの記入を確かめ、必ず販売店からお受取りください。

このたびは、省線式卓上形ナースコールシステムVH-160Aをお求めいただき、まことにありがとうございます。

使用上のご注意

- 本親機はシステム商品です。親機はもちろん、子機などの接続機器も正しくご使用ください。
- 親機・子機に水などを絶対にかけないでください。事故や故障の原因になります。



- セットは開けないでください。どうしても開ける場合には、必ず電源を切ってください。(電源スイッチは制御部にあります。)

No!



お手入れのしかた

- 汚れはやわらかい布でふきとってください。
- 汚れがひどく、カラぶきしても落ちないときは、台所用洗剤を薄めたものにやわらかい布をひたし固く絞ってふきとってください。
- ※支障のないかぎり、電源を切ってから行ってください。



- 下記のもの絶対に使用しないでください。
磨き粉／粉せっけん／ベンジン／シンナー／ワックス／石油／熱湯
- ※化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



室番号、患者名の記入のしかた

室番カード、記名カードの上部を押して本体からはずしてください。

マグネット式ですので簡単にはずせます。

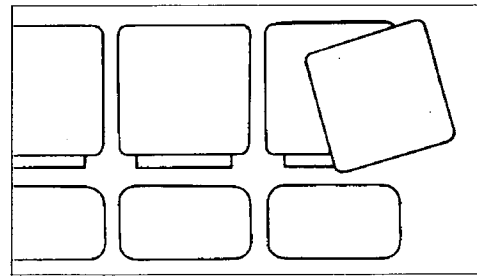
ご記入は油性のサインペン をご使用ください。

※鉛筆やボールペンなど芯の固いものは使わないでください。プレートに傷が残ります。

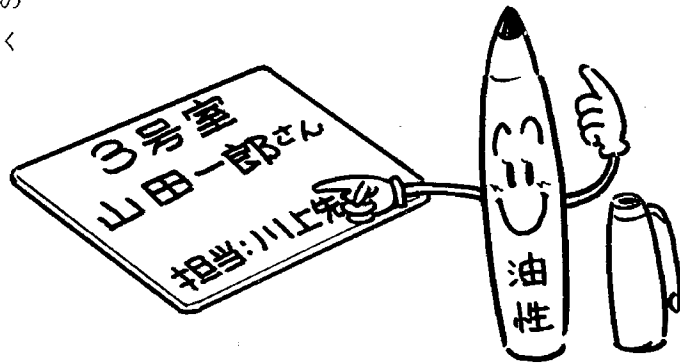
※サインペンの種類により消えにくいものがありますので、あらかじめ薄く書いて消えるかどうか確かめてください。

消すとき

まちがったときや書き替えるときは、ガーゼに、ベンジンやアルコールを含ませて消し、乾いたガーゼできれいにふきとってください。



記名カード
マグネット式だから簡単に取りはずせます。

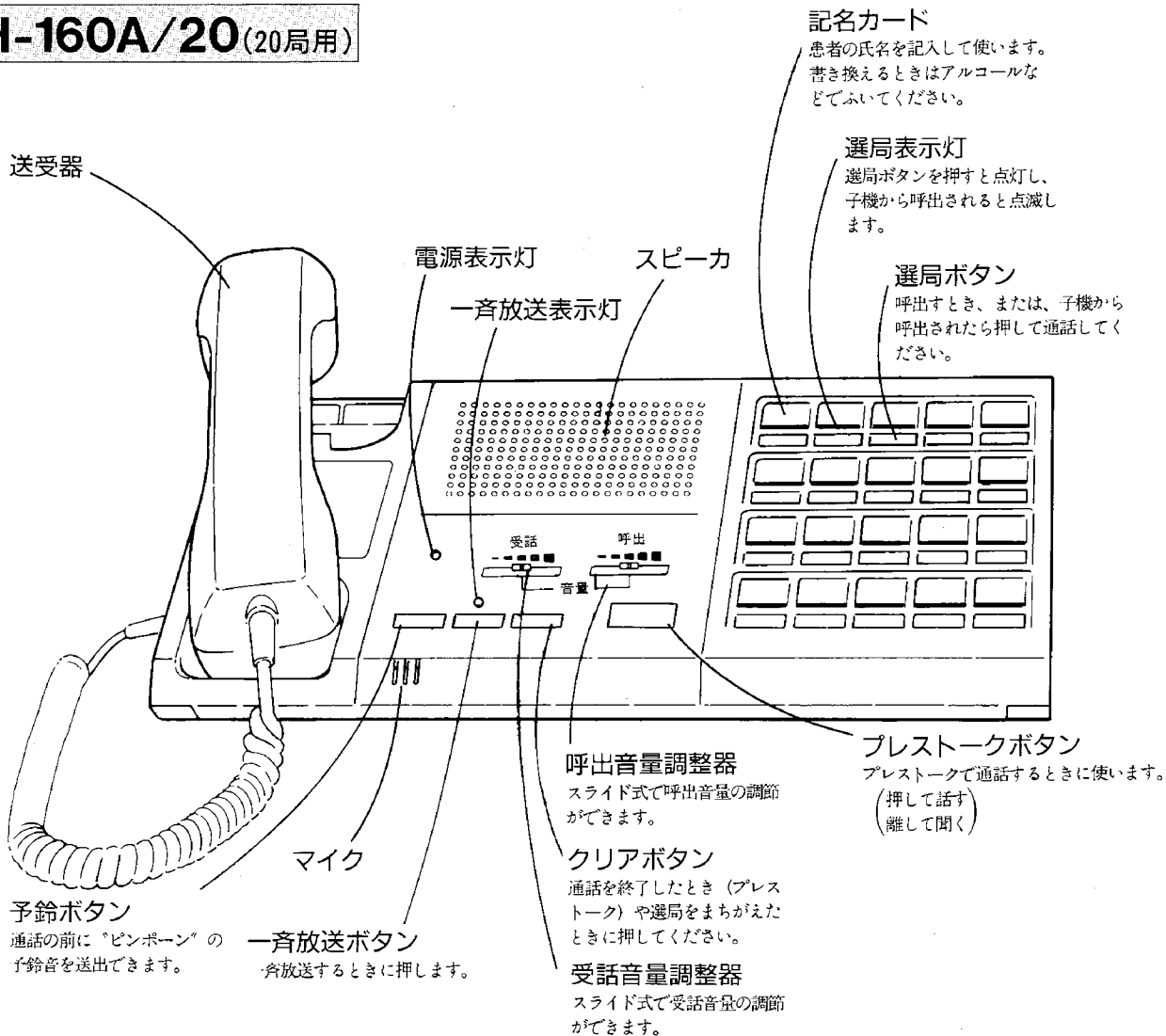


もくじ

各部の名称とはたらき	3
ご使用のまえに	4
子機から呼び出されたとき	5
2カ所以上から同時に呼び出されたとき	5
通話中に呼び出されたとき	6
子機を呼び出して通話するとき	6
呼び出す前に予鈴音を送出したいとき	7
一斉放送をするとき	7
送受器から一斉放送をするとき	7
一斉放送の前に予鈴音を送出したいとき	7
一斉放送する必要がない子機がある場合	8
選局放送をするとき	8
副親機・パラ接続用親機の使い方	9
子機の使い方	10
脱落警報／緊急呼出(オプション)	10
アフタサービス	裏表紙
仕様	裏表紙

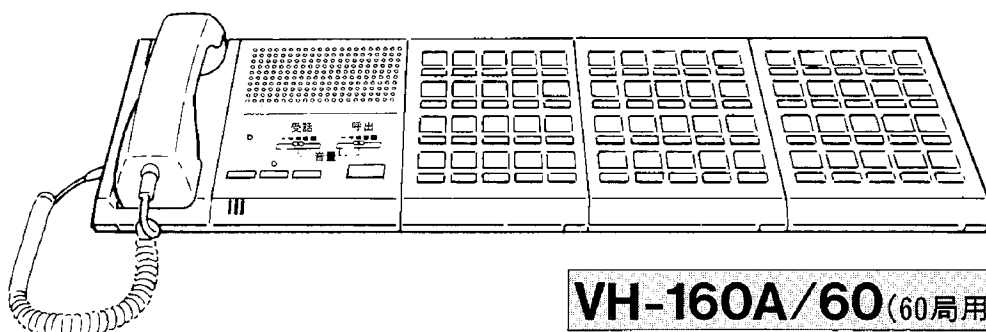
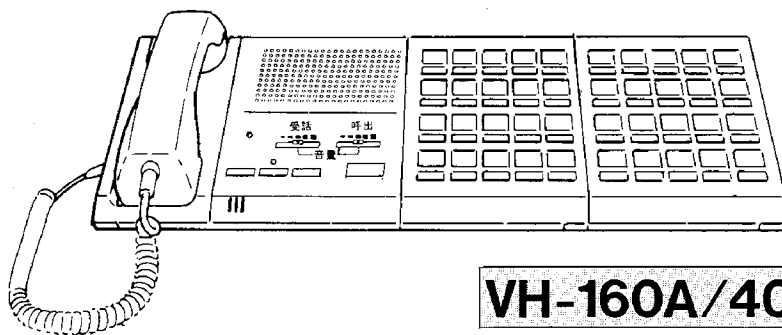
各部の名称とはたらき

VH-160A/20 (20局用)



●その他の親機

40局用・60局用の親機は上記の20局用親機の選局ボタンの部分が20局単位で増設されております。
※選局ボタンの部分が20局単位で最大120局まで6種類そろえています。



ご使用の前に

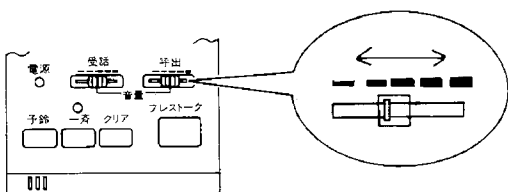
電源スイッチを入れてください。

電源表示灯が点灯しているかどうかを確認してください。

電源スイッチは制御部にあります。

電源スイッチを「入」にしてから約5秒後からご使用できます。

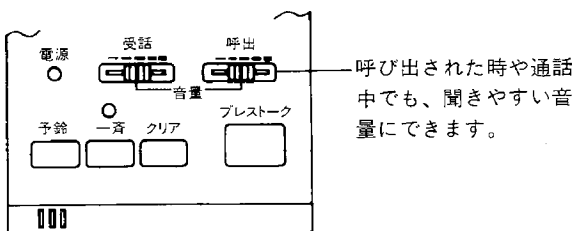
呼出音や通話の音量調整 (呼出音量、受話音量、送話音量、一斉放送音量)



■音量調整はスライド式と回転式で、
左側は小さく、右側が大きくなります。

●呼出音量・受話音量

子機からの呼出音、子機と通話中の受話音量を調整します。呼び出されたときや通話中相手の声に合わせて、すぐに聞きやすくなります。



●送話音量・一斉放送音量 (VH-160A内)

子機で聞く親機からの通話の音量、親機からの一斉放送の音量を調整します。

〔一斉放送VR(VHUPB、VR1)〕
〔送話VR(VHUPB、VR2)〕

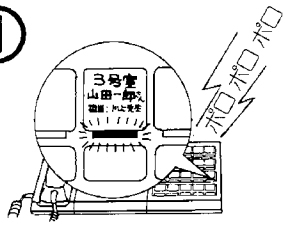
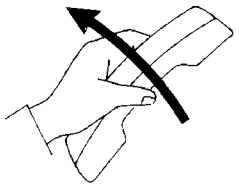
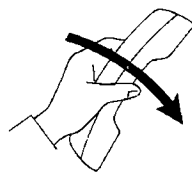
予鈴送話音量の調整

●あらかじめ適正な音量に調整してあります。再度調整しなおすときの予鈴音量調整器は本体底面にありますので、調整してください。

ご使用の前に、送話音量・一斉放送音量は子機で聞きづらくないかを確認してください。

子機から呼ばれたとき

(送受器による通話)

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> <p>通話終了</p> 
<p>選局表示灯が点滅し、トレモロ音が鳴る</p>	<p>送受器をあげる</p>	<p>送受器をおく</p>

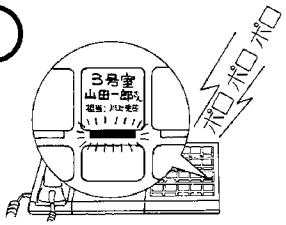

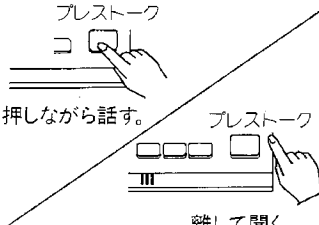
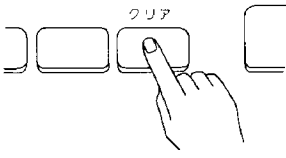
●選局表示灯が点灯します。

●選局表示灯が消灯します。

ご注意

- 通話は約90秒以内にしてください。約90秒以上になりますと、自動的に切れます。
- 子機が呼出ボタンを押すと、廊下灯も点灯します。親機が応答すると、廊下灯は消灯します。また、廊下灯の復帰ボタンを押すと親機の呼出音は止まります。

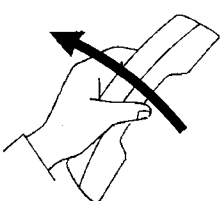
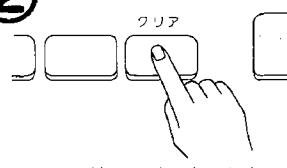
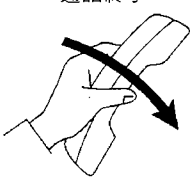
(プレストークによる通話)

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>プレストーク</p>  <p>押しながら話す。</p> <p>プレストーク</p> <p>離して聞く</p>	<p>③</p> <p>通話終了</p> 
<p>選局表示灯が点滅し、トレモロ音が鳴る</p>	<p>点滅している選局ボタンを押し、プレストークボタンを操作する</p>		<p>クリアボタンを押す</p>

●選局表示灯が点灯します。

●選局表示灯が消灯します。


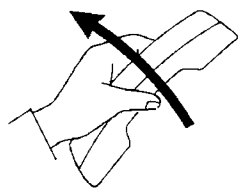
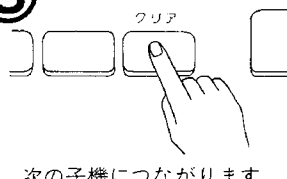
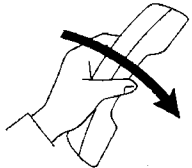
2カ所以上から同時に呼出されたとき

<p>①</p> 	<p>②</p> <p>通話終了後</p> <p>クリア</p>  <p>次の子機につながります。</p>	<p>③</p> <p>通話終了</p> 
<p>送受器をあげ通話</p>	<p>クリアボタンを押す</p>	<p>送受器をおく</p>

●若い番号が優先されます。

●送受器をおき、再度あげても通話できます。

(子機を選びたいとき)

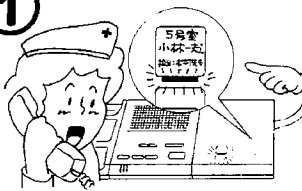
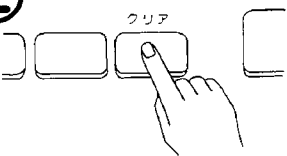
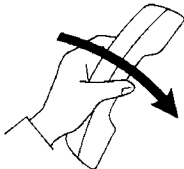
<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> <p>クリア</p>  <p>次の子機につながります。</p>	<p>④</p> <p>通話終了</p> 
<p>選局ボタンを押す</p>	<p>送受器をあげる</p>	<p>クリアボタンを押す</p>	<p>送受器をおく</p>

●子機を選び場合は、その選局ボタンを押してから、送受器をあげてください。

●送受器をおき、再度あげても通話できます。

●選局表示灯が消灯します。

通話中に呼出されたとき

<p>①</p> 	<p>②</p>  <p>次の子機につながります。</p>	<p>③</p> <p>通話終了</p> 
<p>呼出している選局表示灯が点滅</p>	<p>クリアボタンを押す</p>	<p>送受器をおく</p>


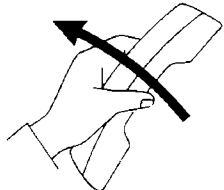
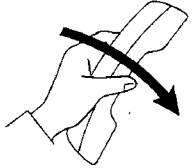
●呼出音は鳴りません。

●選局表示灯が点灯します。
●送受器をおき、再度あげても通話できます。

●選局表示灯が消灯します。

子機を呼び出して通話するとき


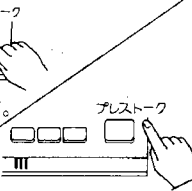
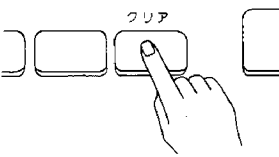
(送受器による通話)

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> <p>通話終了</p> 
<p>呼び出す子機の選局ボタンを押す</p>	<p>送受器をあげる</p>	<p>送受器をおく</p>

●選局表示灯が点灯します。

●選局表示灯が消灯します。

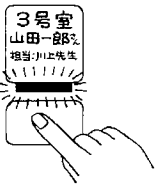
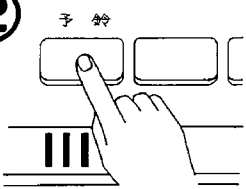
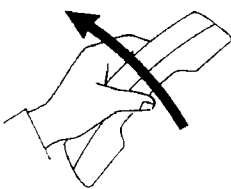
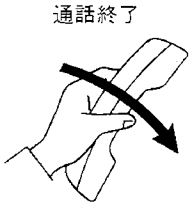
(プレトークによる通話)

<p>①</p> 	<p>②</p>  <p>押しながら話す。 プレトーク 離して聞く</p>	<p>③</p> <p>通話終了</p> 
<p>呼び出す子機の選局ボタンを押す</p>	<p>プレトークボタンを操作する</p>	<p>クリアボタンを押す</p>

●選局表示灯が点灯します。

●選局表示灯が消灯します。

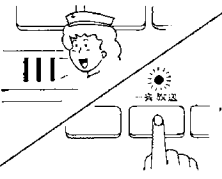
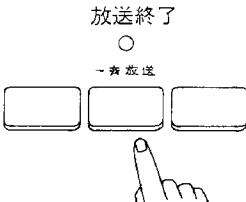
呼び出す前に予鈴音を送出したいとき

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> 	<p>④</p> 
<p>呼び出す子機の選局ボタンを押す</p>	<p>予鈴ボタンを押す</p>	<p>送受器をあげる</p>	<p>送受器をおく</p>

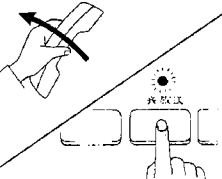
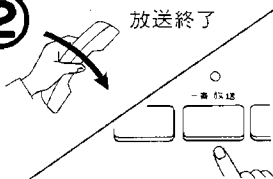
(プレストークの場合)

<p>①上記①と同じ操作</p>	<p>②プレストークボタンを押しながら予鈴ボタンを操作する</p>	<p>③通話終了後、クリアボタンを押す</p>
------------------	-----------------------------------	-------------------------

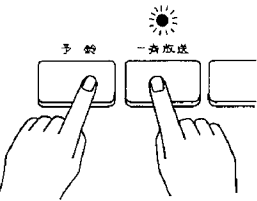


一斉放送をするとき

<p>①</p> 	<p>②</p> 
<p>一斉放送ボタンを押しながら、マイクに向かって放送する</p>	<p>一斉放送ボタンを離す</p>


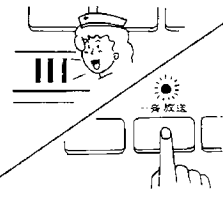
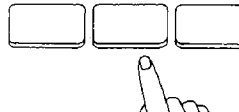
送受器から一斉放送をするとき

<p>①</p> 	<p>②</p> 
<p>一斉放送ボタンを押しながら、送受器を取って放送する</p>	<p>一斉放送ボタンを離し、送受器をおく</p>

一斉放送の前に予鈴音を送出したいとき

<p>①</p> 		
<p>一斉放送ボタンを押しながら、予鈴ボタンを押す</p>		


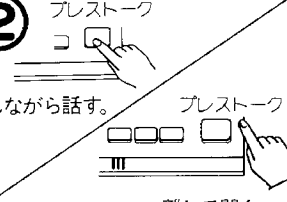
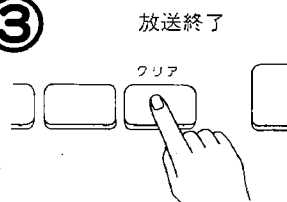
一斉放送する必要がない子機がある場合

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> <p>放送終了</p> 
<p>放送を流す必要がない子機の選局ボタンを押す</p>	<p>一斉放送ボタンを押しながら、マイクに向かって放送する</p>	<p>一斉放送ボタンを離す</p>

(送受器の場合)

<p>①上記①と同じ操作</p>	<p>②一斉放送ボタンを押しながら、送受器を取って放送する</p>	<p>③一斉放送ボタンを離し、送受器をおく</p>
------------------	-----------------------------------	---------------------------

選局放送するとき

<p>①</p> 	<p>②</p> <p>プレストーク</p>  <p>押しながら話す。</p> <p>プレストーク</p> <p>離して聞く</p>	<p>③</p> <p>放送終了</p>  <p>クリア</p>
<p>放送したい子機の選局ボタンを押す</p>	<p>プレストークボタンを操作する</p>	<p>クリアボタンを押す</p>

(送受器の場合)

<p>①上記①と同じ操作</p>	<p>②送受器をあげ通話</p>	<p>③通話終了後送受器おく</p>
------------------	------------------	--------------------

- 一斉放送中は通話できません。
- 一斉放送中・選局放送中に子機から呼出しがあったときは、選局表示灯が点滅し一斉放送が終了しますと、呼出音が鳴ります。

副親機・パラ接続用親機の使い方

- 副親機とパラ接続用親機は最大2台まで接続できます。
(混用して使用できます)
- パラ接続用親機は親機と同様に子機を呼び出したり、
応答したり、また、一斉放送などができます。
- 副親機は応答専用です。子機や親機を呼び出すことは

できません。また、音量の調整もできません。親機の
設定した音量とほぼ同じになります。

- 親機・副親機・パラ接続用親機のいずれかが送受器を
取り上げると、他の親機・副親機は使用できません。

<p>副親機 VH-280</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子機や親機を呼出すことはできません。 (受信専用) 		<p>パラ接続用親機 VH-160A/20S(20局用) 40S(40局用) 60S(60局用) 80S(80局用) 100S(100局用) 120S(120局用)</p> <p style="text-align: center;">VH-160A/40S(40局用)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子機から呼ばれたとき

①	②	③
呼出音が鳴る	送受器をあげる	送受器をおく

- 他の親機は電源表示灯が点滅し、最初に送受器を取り上げた親機が通話を終了するまで操作はできません。

- 親機にも呼出音が鳴り、選局表示灯が点滅します。
- 親機の呼出音が止まり、選局表示灯が点灯します。

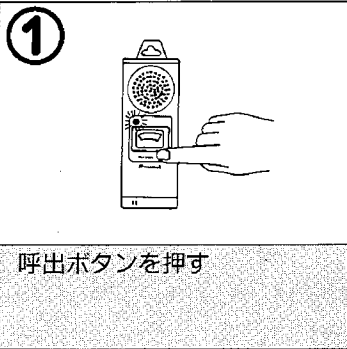
2カ所以上から同時に呼出されたとき

①	②	③
呼出音が鳴る	送受器をあげる	送受器をおくと呼出音が鳴り、再度送受器をあげる

- 若い番号が優先されます。

子機の使い方

親機を呼出すとき



- 応答がありましたら、そのまま通話してください。
- 親機から応答があると呼出表示灯は消えます。

■ 呼出ボタンを押すと、廊下灯が点灯します。

廊下灯が点灯していたら、復帰ボタンを押し、呼び出した人と直接お話ししてください。

* 復帰ボタンを押すと、親機への呼出しは止まり、子機の呼出確認灯や廊下灯は消えます。

- 呼出表示灯が点灯します。
- 応答があるまで呼出しをつづけます。

親機から呼出されたとき

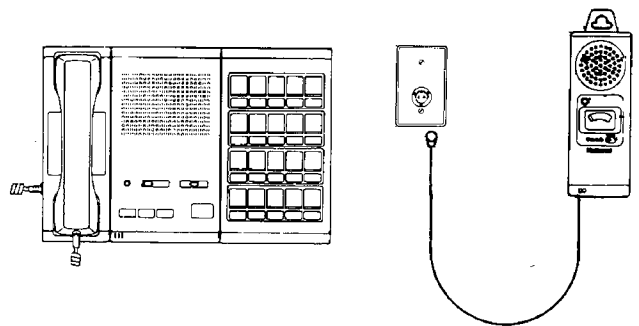


脱落警報

● 子機がコネクタから抜けると親機に脱落警報音(ブツブツ)が鳴り、該当局が脱落表示します。

該当局の選局ボタンを押すと脱落警報音が停止し、脱落表示は点滅のままとなります。

● 警報は脱落を復旧すると自動的に停止します。

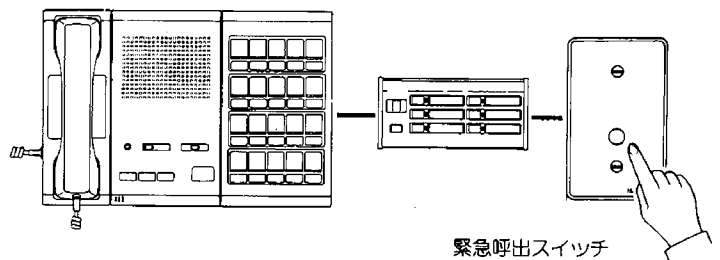


緊急呼出(オプション)

● 病室側の緊急呼出スイッチを押すと、親機へ緊急呼出音が鳴り廊下灯が点灯します。

● 消去は、親機で選局するか廊下灯の復帰ボタンを押します。

* 緊急呼出スイッチが必要です。



アフタサービス

1. 保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間です。

2. 修理を依頼される時

故障または異常が発生したときは、電源を切って販売店までご連絡ください。

●保証期間中は

お買求めの販売店にご連絡ください。

保証書の規定に従って、販売店が修理致します。

●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、まずご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号 ●製品名、品番、ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

3. アフタサービスについて、おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問合わせください。

仕様

電源電圧	AC100V 50/60Hz 又はDC24V	通話方式	親子式、同時通話(プレストーク兼用)式
消費電力	通常時 約100W以下 最大時 約160W以下	通話路	1通話路
通話出力	最大 100mW	呼出方式	電子音(トレモロ音)及び発光ダイオードによる呼出表示
一斉放送出力	最大 100mW/局	形状	本体 ABS樹脂・塩ビ鋼板
選局放送出力	最大 100mW/局(最大12局まで)	配線方式	制御部～個別廊下灯間6線 個別廊下灯～子機間2線

便利メモ

お問合せや修理依頼のときのために、記入しておいてください。

ご購入年月日	年 月 日	品番VH-160A/20,40,60,80,100,120
ご購入店名		電話 ()
最寄りの当社 ご相談窓口		電話 ()

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 情報通信事業部

〒226 横浜市緑区佐江戸町600番地 電話(045)932-1231(代表)

7A0447Z4AJ

1089